

市町村名	今帰仁村						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	地域活動拠点活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ		
担当部課名	企画財政課	事業実施年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流と共創による農山漁村の活性化 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	地域活動・地域行事・伝統文化等芸能の場や景観を利用した、都市及び観光客との交流体験の場となる施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A. 計(b+d)		97,805	—			
			96,876	—			
			▲ 929	—			
			—	35,376			
		61,500	35,376				
		34,712	19,954				
		35,376	—				
		63.5%	100.0%				
	予算の状況の説明	資材調達や労務者確保が難しく、繰越が生じたもの、予算の範囲内で適正な執行が行えた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
	地域活動拠点施設の建築工事の実施	目標	(地域活動拠点施設の建築工事の実施)	()	()	()	
		実績	地域活動拠点施設の建築工事の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	資材調達や労務者確保が難しく、繰越が生じたもの、地域活動拠点施設の建築工事を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	地域活動拠点施設の完成	目標	()	(地域活動拠点施設の完成)	()	()	()
		実績		地域活動拠点施設の完成			
		目標					1,480人
	進捗状況説明	地域活動拠点施設は平成30年5月31日に完成し、成果目標を達成した。					

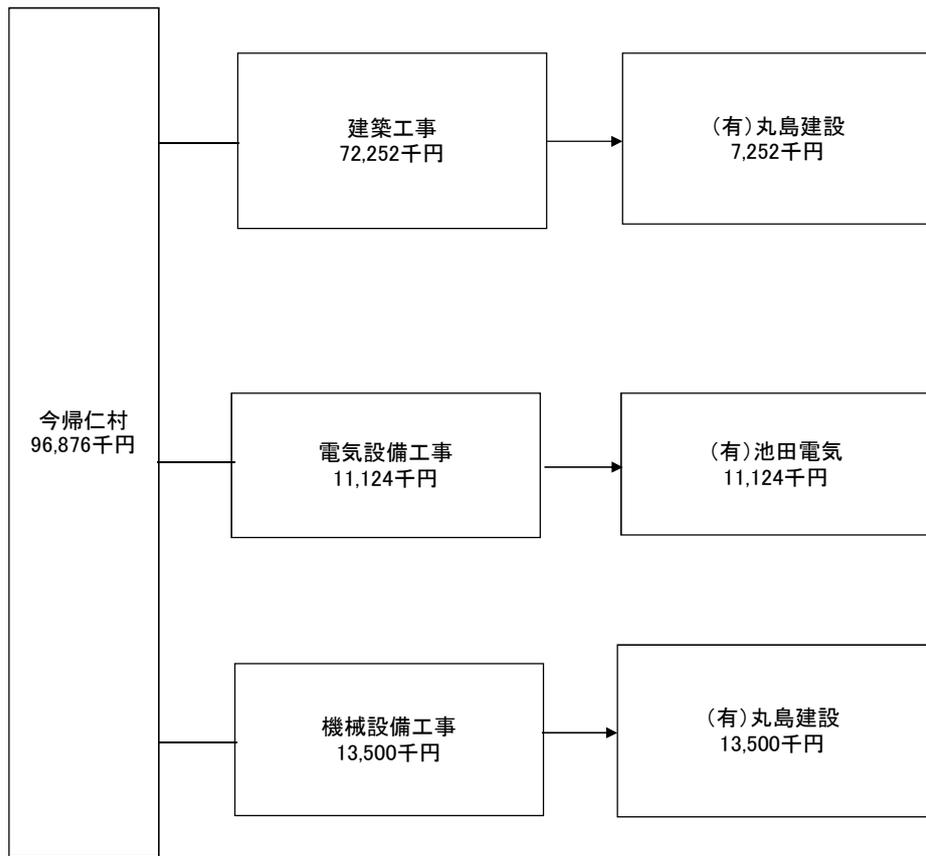
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の住民及び観光客との交流拠点としての利用促進を図るにあたり、本施設で行う交流、体験活動プログラムの充実が課題となる。 ・外的な交流だけでなく、地域住民が各種行事や伝統芸能等の継承を行う際の世代間交流の拠点としての施設活用も課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の住民及び観光客が気軽に参加できる行事の実施や地域に観光客が訪れやすい環境づくりを検討する必要がある。 ・地域の行事や伝統芸能を世代を超えて継承し保護できるように、特別な時期以外にも世代間交流を図る必要がある。

今後の取り組み方針

・都市住民及び観光客との交流を図るため、民泊受入をしやすいように地域の郷土料理教室や民泊受入家庭の横の繋がりを強化しホスピタリティ向上を図るとともに、豊年祭等の伝統行事以外にも、都市住民や観光客が地域の文化に触れることのできるプログラムを検討する。
 ・伝統行事の継承を図るため、地域住民の世代間交流を促すことの出来る取組を検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
96,876	96,876	54,666	42,210	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の契約規則に基づき、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は設計額に基づき発注しており適正な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	